

単元：6年「おすすめの国を紹介しよう」(Lesson 5をもとにして)(6時間)

ねらい：おすすめの国を紹介し合う活動を通して、友達とのコミュニケーションを楽しむ。

活動内容

導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ クイズやチャンツなどを通して、世界には様々な国があることを知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産クイズ ・国旗クイズ ・国名チャンツ ・国名ジングル (Hi, friends! Plus) ○ 行きたい国を尋ねたり答えたりする。
----	--

- ・ 様々なクイズやチャンツなどを通して、楽しみながら世界にはとても多くの国があることを知った。特に、Hi, friends! Plusにあるジングルには、あまり聞き慣れない国も出てきて、興味をもっていた。
- ・ 行きたい国を聞き合う活動では、“Where do you want to go?”と友達に尋ね、“I want to go to ○○.”と答え、簡単なコミュニケーションを楽しんだ。



<Hi, friends! Plusのジングル>



<行きたい国を聞き合う>

展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 興味がある国についてインターネットで調べる。 ○ 調べた国について、観光名所や食べ物など、おすすめのポイントを紹介する文を作る。 ○ クラスの友達と、おすすめの国を紹介し合う。
----	--

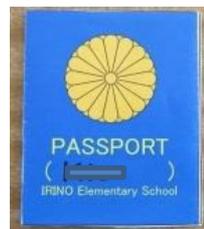
- ・ 世界の国の中から、興味をもった国について、観光名所や食べ物をインターネットで調べた。
- ・ その後、Lesson 3で扱った「can」を使って、“You can see ~.” “You can eat ~.” “You can do ~.”の3つの文を作った。
- ・ クラスを2つのグループに分けて、片方は旅行者、もう片方は紹介者になり、おすすめの国を紹介した。時間で区切って交代した。
- ・ 紹介者は“Welcome to ○○!”と言って始めた。旅行者は“What can I see?”などと聞き、紹介者の説明に“Nice!” “I want to go!”などと言反応を返すようにした。
- ・ 世界旅行をしている気分を味わうために、旅行者にはパスポートを持たせた。



<興味のある国を調べ、紹介カードを作る>



<友達に紹介する>



<パスポート>

終末	○ 学年の友達と、おすすめの国を紹介し合う。(体育館)
----	-----------------------------

- ・ クラスで行った交流活動を、学年全体へと広げた。
- ・ グループはクラスのとときと同じ2グループ。

- ・ 体育館を世界に見立て、紹介者は「アジア」「ヨーロッパ」など地域ごとにまとまって待機した。
- ・ 旅行者はパスポートを持って各国を巡り、交流を終えたらパスポートに国旗シールを貼るようにした。



＜体育館で学年全体交流＞



＜今回はパスポートに国旗シール＞



＜相手の話に反応する様子＞



＜相手の目を見て話す様子＞



＜興味をもって聞く様子＞

成果と課題

- 世界の様々な国を知り、自分で調べて紹介したり、友達を紹介を聞いたりする活動を通して、外国への興味がとても高まった。振り返りには、「こんなにきれいな場所があるなんて知らなかった。」「実際に行ってみたくなった。」などの感想が見られた。
- 交流活動で、パスポートを持って世界を実際に巡っているような気分になったことで、より交流意欲がわき、進んで交流しようとする姿が見られた。
- 単元を通して、「Nice!」「Great!」「I want to go.」などの反応表現を使用するようにしてきたため、相手の話をしっかりと聞き、反応することができるようになった。そして、1往復以上の会話が成立するようになってきた。さらに、目と目を合わせて笑顔でコミュニケーションをする姿が以前よりも増え、交流活動を楽しむことができた。
- 1単元で6時間とっているため、他の単元を少しずつ短くすることになってしまった。
- 自分の紹介文を十分に練習する時間がとれなかったため、以前に扱ったことのある「can」を用いることにしたが、それでも中には何とさえいえないのかわからなくなってしまい、自信をもってコミュニケーションができなかった児童もいた。何度も繰り返し声に出して十分言い慣れてから交流活動に取り組む必要性を改めて感じた。
- 反応表現をいくつか紹介して使えるようになったが、交流活動になって、児童が「こうやって英語で返したいのにわからない。」という場面が何度かあった。交流活動で使うことになりそうなものをもっと吟味して、事前にたくさん提示しておいたほうがよかった。今後の単元でもたくさん提示していきたい。